

家庭教育セミナー

担当：生涯学習総務課

1 目的

子どもが目標を持って自ら進路を定めるためには、どのような家庭教育が必要なのかを学ぶ。

<理由>

親は子どもに「普段から目標をもって行動してもらいたい」、「できれば早いうちに将来の夢や興味のあることを見つけてほしい」などと考えますが、子ども側は、まだ将来や目標を考える土台が整っていない状況にあるように感じます。

子どもが「自分がやりたいことを自分で見つけて自分でがんばる人生」を歩めるようにするためには家庭でどのような環境をつくり、子育て（家庭教育）をすれば良いかを学ぶためにこのテーマとしました。

2 日時

令和2年 1月26日（日）午前10：00～午前11：30

3 会場

生涯学習センターゆとろぎ 小ホール

4 対象

保護者及び児童・生徒、地域の子育て関係者等

5 定員

252人（小中学校保護者は、事前参加者把握のため申込書付きのチラシを配布しますが、当日参加も可とします。）

6 内容

《講演》

劇場式会場でのセミナー。スクリーンで資料を見ながら、一緒に参加できそうな子どもたちは同席し、講師の話を聞く。

幼い子どもたちを持つ保護者はレセプションホールでモニターを見ながらセミナーに参加する。

レセプションホール内では、1時間半の間、幼い子どもたちが飽きないように工作教室を設ける。

7 テーマ

「AI時代に生きる子どもたちの『才能』を引き出す魔法の言葉 ～2020年以降の教育にも対応する方法～」

8 講師

一般社団法人教育デザインラボ 代表理事 石田 勝紀 氏

(プロフィール) 一般社団法人 教育デザインラボ 代表理事、公立大学法人 都留文科大学 国際教育学科 特任教授

1968年、横浜市生まれ。20歳で学習塾を起業。これまで3500人以上の生徒を直接指導する傍ら、講演会、セミナーなどを通じて5万人以上の子どもたちを指導してきた。35歳で、都内私立中高一貫校の常務理事に就任し、経営、教育改革を実践。現在は「日本から勉強嫌いな子をひとり残らずなくしたい」という信念のもと、全国各地で講演会、カフェスタイル勉強会「Mama Café」、研修会を年間400回以上主催している。『東洋経済オンライン』での人気教育連載コラムは、累計7200万PVを記録している。

主な著書に『勉強しない子には「1冊の手帳」を与えよう！』『子どもの自己肯定感を高める10の魔法のことば』『中学生の勉強法』『中学受験に合格する親子の24の魔法の会話』はじめ、多数の書籍を出版している。

9 共催

羽村第一・二・三中学校区PTA、羽村市教育委員会